

①ホテルグレイスリー新宿のダブルルームにはソファ上部にエアイーが設置される(画像はCG予想図)
②外観 ③エアイー ④エアイー配置図

ホテル グレイスリー 新宿

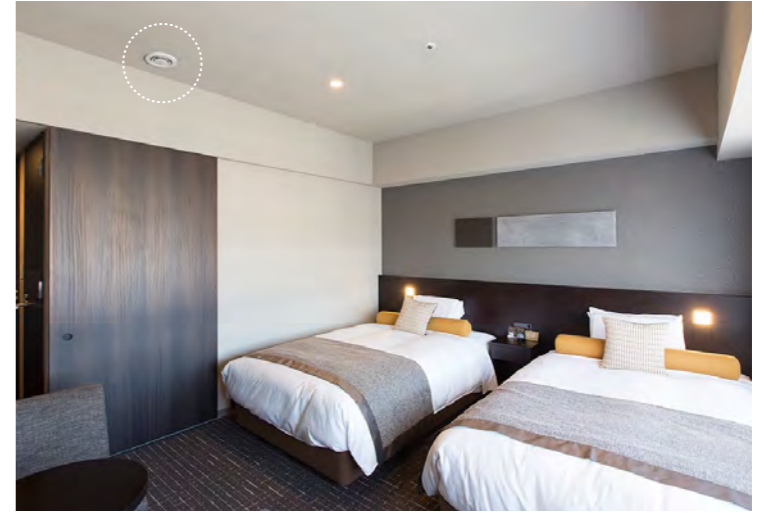
HOTEL GRACERY SINJUKU

2つのホテルブランドに ナノイー発生機「エアイー」を導入

藤田観光株式会社は、主要都市を中心にビジネスニーズに応える「ワシントンホテル」と、観光ニーズに応える「ホテルグレイスリー」という、2つのブランドのホテルを展開している。ワシントンホテルは、札幌に1号店を1973年に開業して以来、ビジネスマン向けのホテルとして全国に展開。一方、「ホテルグレイスリー」は観光・レジャーでの利用を見越し、それらをサポートする機能を充実させたホテルとして2008年より展開。同社では「ワシントンホテル」のWHと「ホテルグレイスリー」のHGを繋げ「WHG」ブランドと総称し

ている。同ブランドを確立する際、「至福の眠り」と「癒やし」を基本コンセプトに設備面の再検討が行われた。トイレ・浴室が独立したバスルームにオリジナルベッド、さらに室内の空気を浄化する機能も全室に標準採用された。2013年に新モデルとしてオープンした広島ワシントンホテルでは、全266室に「エアイー」を設置。同時期にオープンした仙台ワシントンホテルでも全223室に採用されている。ホテルグレイスリー新宿は、2015年4月、新宿コマ劇場跡地にオープンする新宿東宝ビルに展開されるブランド・フラッグシップ店。ここでも全970室に「エアイー」を設置し、客室に高い空気質を提供することが計画されている。

広島ワシントンホテル



広島ワシントンホテルのツインルーム

仙台ワシントンホテル



仙台ワシントンホテルのツインルーム



村澤 高太郎氏
むらさわこうたろう
藤田観光株式会社
WHG事業グループ
企画チーム開発担当
担当課長

ブランドの価値を高める設備として導入
2つのブランドでは、客室でのホスピタリティを目的に天井埋込形ナノイー発生機「エアイー」を導入しました。ホテルではニオイの環境には気を配っていますが、消臭対策にはコストや手間がかかります。天井埋込形ナノイー発生機「エアイー」はフィルター交換が不要なのでメンテナンスの手間がなく、ランニングコストもわずかです。先行して導入した仙台や広島でも効果があり、清掃スタッフから24時間稼働して欲しいという依頼がありました。このため、ホテルグレイスリー新宿ではルームキーを抜いても「エアイー」を稼働する設計にしました。消費電力が少ないため、常時稼働も可能になりました。